Panasonic®

保管用

光スプライスユニット　スライド式
アダプタなし・6ポート・12ポート・24ポート(SC2連)
品番 NR 652200・NR 652206・NR 652212・NR 652224

施工説明書

■お願い

- 本書は、「光スプライスユニット　スライド式」の特徴と作業手順について説明しております。 本製品を安全に使用していただくために、また十分活用していただくために、施工前に必ずこの説明書をお読みください。
- この説明書は、お読みになった後も大切に保管してください。

■安全上のご注意

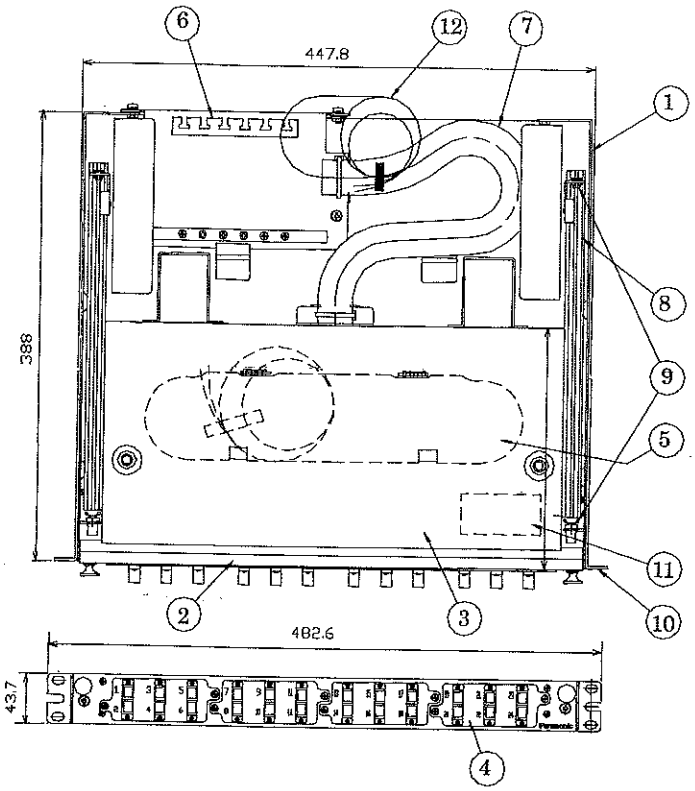
⚠警告

- ケース本体のキャビネットラック等への取り付け・固定は確実に行ってください。キャビネットラックからの脱落により、けがや故障の原因になります。
- 光ファイバ、光コネクタ及びアダプタを直接のぞき込まないでください。レーザ光によって目の障害を引き起こす可能性があります。
- 光ファイバの取り扱いには十分にご注意ください。光ファイバの先端、クズや破片が皮膚や目を傷つけることにより、けがの原因になります。

⚠注意

- 光ファイバケーブルをケース本体とケース蓋の間に挟み込まないようにしてください。光ファイバの断線の原因になります。
- 本体内部に砂やゴミが入らないようにしてください。伝送不良や光ファイバの傷の原因になります。
- 光ファイバ心線の曲げ半径は30 mm以上を確保し、必要以上に屈曲させないでください。伝送不良や光ファイバの断線の原因になります。
- 光ファイバケーブルやコードを固定するクランプは必要以上に締め付けないでください。光ファイバの断線の原因になります。
- 高温、多湿、塵埃、腐食性ガス、振動、衝撃などがある環境ではご使用にならないでください。故障の原因になります。
- この製品は屋内専用です。屋外や雨のかかる場所には設置しないでください。
- ネジ部品は締めすぎないようにしてください。部品の破損の原因になります。

■各部の名称



①スライドケース
②スライド本体
③フタ
④アダプタパネル
(空きポートがある場合には
ブランクパネルが付きます)
⑤融着・余長収納トレイ
⑥ケーブル把持金具
⑦フレキシブルチューブ
⑧スライドレール
⑨ミニラッチ
⑩ラックマウント固定板
⑪製造銘板
⑫通線紐

※図は24ポートタイプになります。
本体質量：約5.5 kg

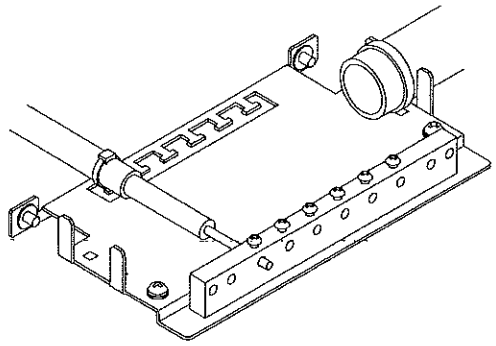
本製品には以下の部品を添付しております。用途に合わせてお使いください。

	部品名	数量	構造・用途
1	ナイロンバンド	8本	光ケーブルをケーブル把持金具に固定するために使用します
2	ラック固定ネジ	4本	本体を19インチラックに固定するために使用します (M5×12)
3	保護チューブ	4本	テープ心線の識別、保護に使用します。(青黄緑赤、各1本)
4	ﾛｯｷﾝｸﾞ ﾜｲﾔｰｸﾗﾝﾌﾟ	4個	心線やケーブル、コードを本体内部で整理するために使用します
5	心線押さえシート	8枚	融着・余長収納トレイ内の心線を押さえるために使用します
6	交換用フレキシブルチューブ (通線紐2本付)	1本	光ケーブルを垂直把持する場合に使用する交換用チューブです
7	融着用熱収縮ｽﾘｰﾌﾞ	24本	融着接続部を再被覆し、補強するために使用します
8	施工説明書	1部	本書

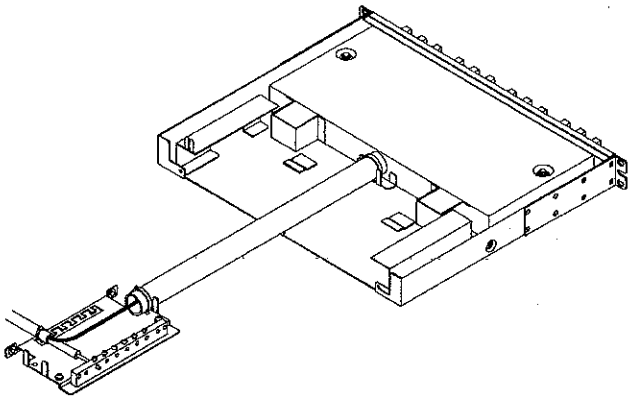
■全体の施工の流れ

全体の施工のおおまかな流れを以下に示します。詳細は以降の説明内容を参照してください。

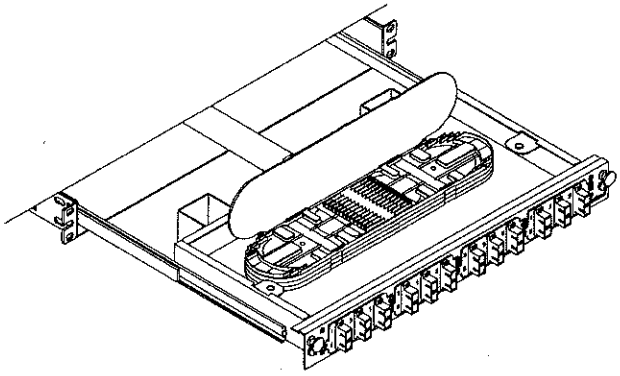
①光ケーブルの外皮処理と把持金具への固定



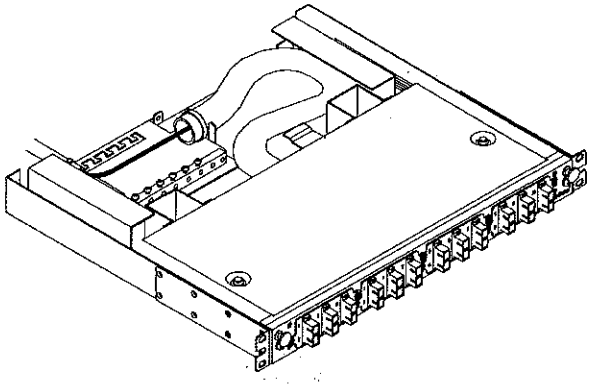
②心線の通線作業



③光コードの配線と融着、余長収納



④本体の収容

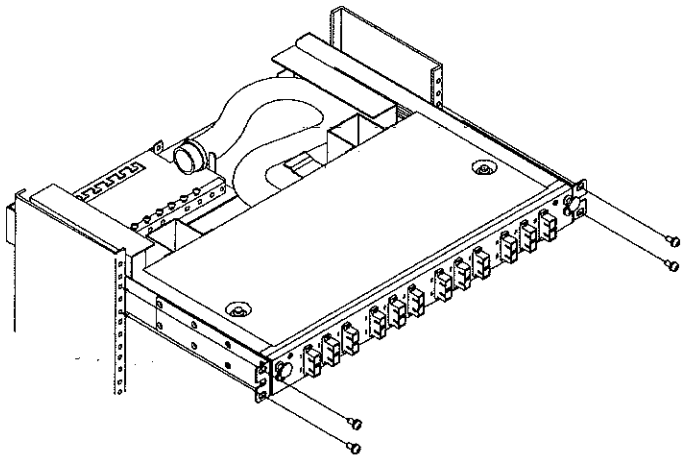


■施工方法

光ファイバケーブルは以下の適用のものをご使用ください。

適用光ファイバケーブル：単心スロット型、層型、コード型、テープスロット型 適用光ファイバケーブル外径：φ8 ㎜ ～ φ14 ㎜ 最大ケーブル入線本数：6本

1. 19インチキャビネットラックへの本体の取り付け・固定



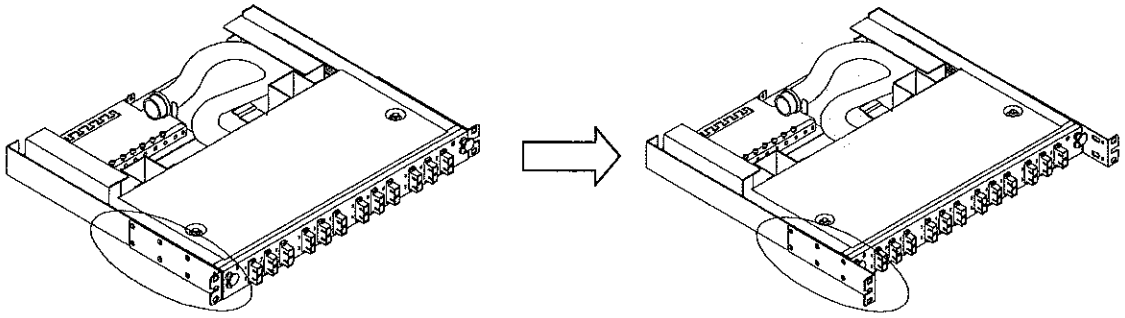
19インチキャビネットラック(EIA規格)のネジ穴と本体のラックマント固定板の長穴を合わせた後、添付のラック固定ネジ(M5)4本を用いて固定します。

注意

光ケーブルの導入に必要な空間を確保できる位置に本体を固定してください。

※ ラックマウント固定板のスライド機構

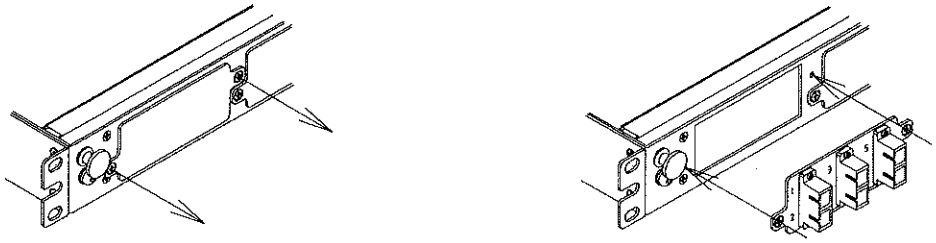
本体側面のラックマウント固定板は位置変更することができます(側面の取り付けネジ位置変更により、50 ㎜、100 ㎜とスライドできます)。本体前面側にスペースがなく、光コネクタ付きコードを接続する余裕がない場合などは、スライドさせてお使いください。



※ アダプタパネルの交換

アダプタパネルはネジを外すことで、他の種類のパネルに交換することが可能です。使用する心数、コネクタの種類によって交換してご使用ください。

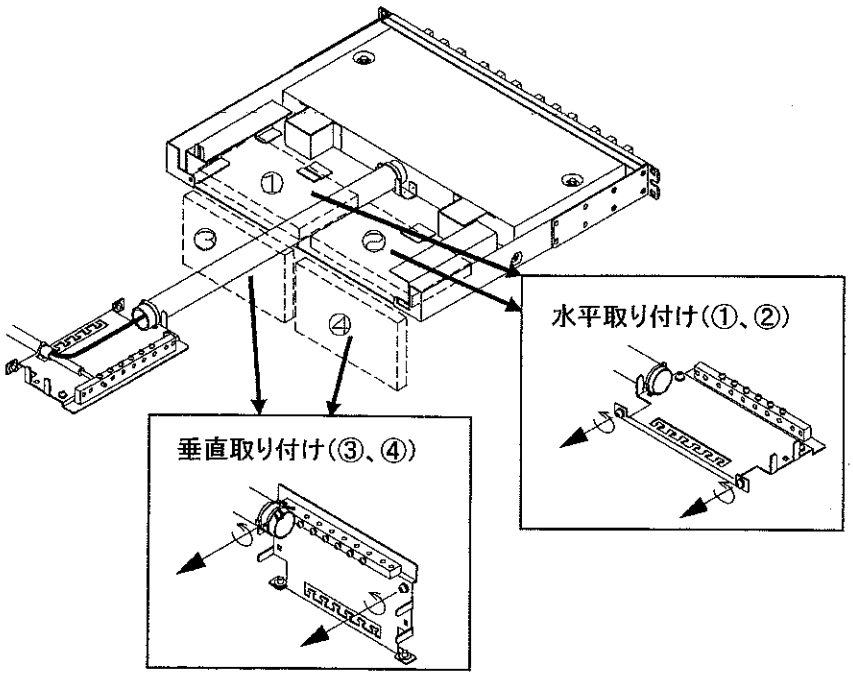
（下図はブランクパネルをSCアダプタパネルに交換する場合）



2. ケーブル把持金具の固定位置の決定

ケーブル把持金具の固定位置は、下図の①～④の位置のように「水平取り付け」、「垂直取り付け」、「各々の左右」の計４箇所に固定可能です。（標準状態では、水平・右側（②の位置）に取り付けられています）。

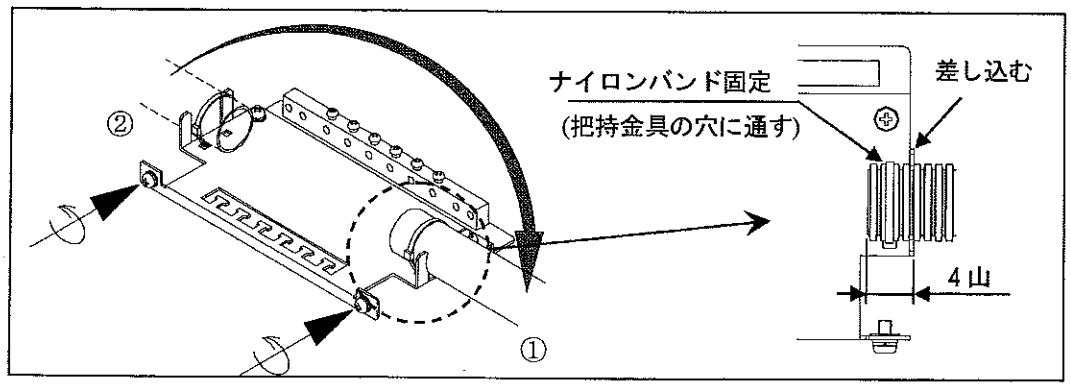
キャビネットラック内の背面側スペースに余裕がない場合などは、①、②の水平位置に取り付けることでスペースに余裕ができます。光ケーブルを垂直に導入したい場合や、スプライスユニット本体の上面にネットワーク機器などがある場合には、垂直位置③、④に取り付けることで作業がしやすくなります。各ケースに応じて固定位置を変更してご使用ください。



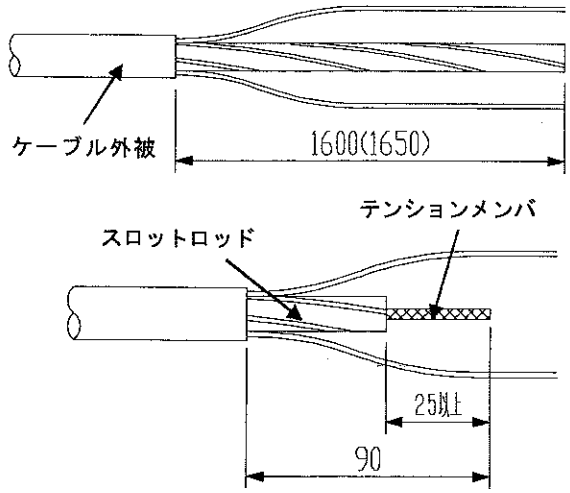
※なお、上記のようにケーブル把持金具の位置を変更した場合には、フレキシブルチューブの選択や固定位置が異なります。下図を参照して変更してください。

＜「水平取り付け①、②」の場合＞

標準状態位置から、左右位置を変更した場合はフレキシブルチューブの固定位置もあわせて変更してください。チューブを4山分の位置で差込み、添付のナイロンバンドで固定してください。



3. 光ケーブル外被のはぎ取り長の決定

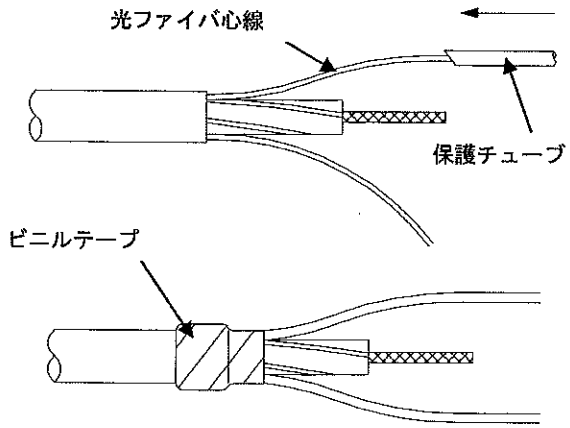


光ケーブルの外被は、水平取り付け（前述の2. 項参照）の場合1600 mm、垂直取り付けの場合1650 mmはぎ取ってください。

スロットロッドはケーブル外被より90 mmで切断し、テンションメンバを25 mm以上口出してください。

注意
光ケーブル外被のはぎ取り作業を行うときは、心線の誤切断等に十分注意してください。

4. 保護チューブへの光ファイバ心線挿入

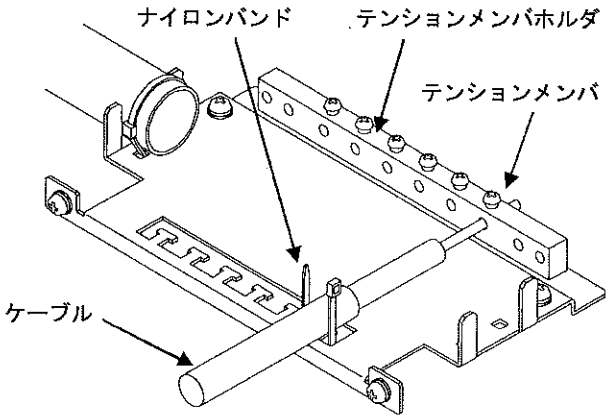


取り出した心線は、下表の本数に従って保護チューブに挿入します。シース際はビニルテープ等で固定します。

心線種類	保護チューブ1本あたりの心線挿入数
単心線	6本
4心テープ	2枚

※保護チューブ1本に対して、融着・余長収納トレイ（後述7. 項参照）1枚が対応します。

5. 光ケーブルの固定（テンションメンバの固定）

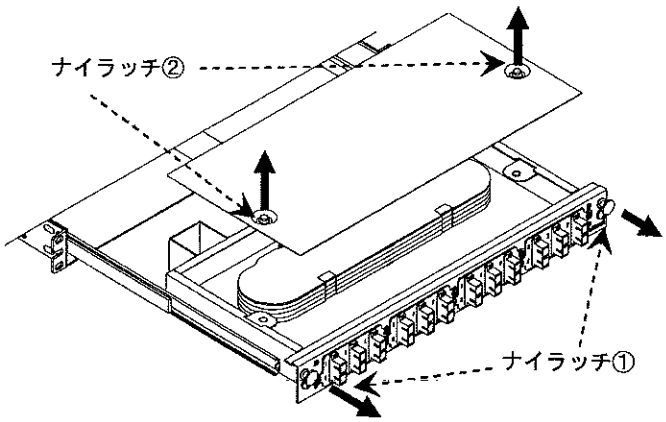


光ケーブルのテンションメンバをテンションメンバホルダの穴に挿入してください。この時点でテンションメンバをネジで仮固定します。

光ケーブルの外被部分を添付のナイロンバンドで締め付けてください。また、テンションメンバホルダのネジも締め付けて、テンションメンバを固定してください。

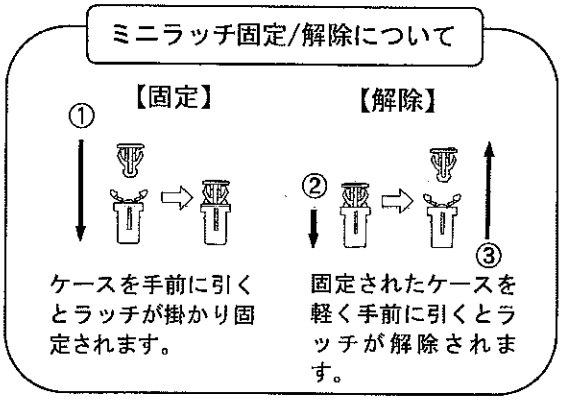
注意
光ケーブルの把持の際は、心線の誤切断、挟み込み等に十分注意してください。

6. 本体の引き出し



前面のナイラッチ①のロックをはずし、本体をスライドさせて前方に引き出します。いっぱいに引き出すとミニラッチにより固定されます。

フタは上面のナイラッチ②をつまみ、ロックをはずして上方へ取り出します。



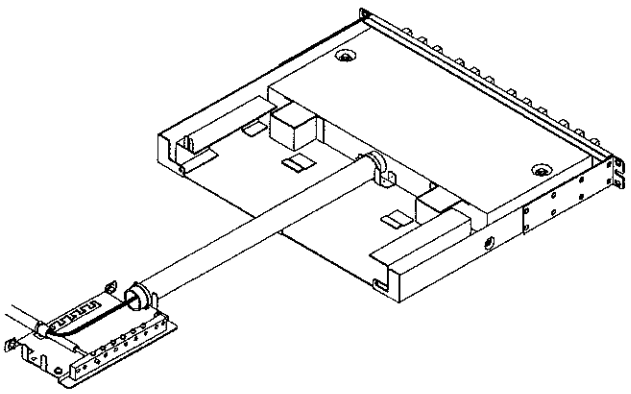
注意

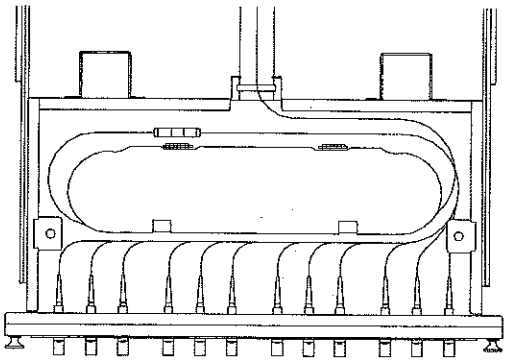
本体に衝撃を与えないでください。ミニラッチの固定が外れ、指や心線を 挟む原因になります。

ナイラッチ、ミニラッチを無理に操作すると破損の原因になりますので御注意ください。

7. 心線の通線作業

下図のようにフレキシブルチューブを伸ばし、保護チューブに収容された心線を通線します。通線の際には、フレキシブルチューブに挿入されている通線紐（リード線）を利用すると便利です。通線した心線は時計回りで右図のように融着・余長収納トレイまで配線します。

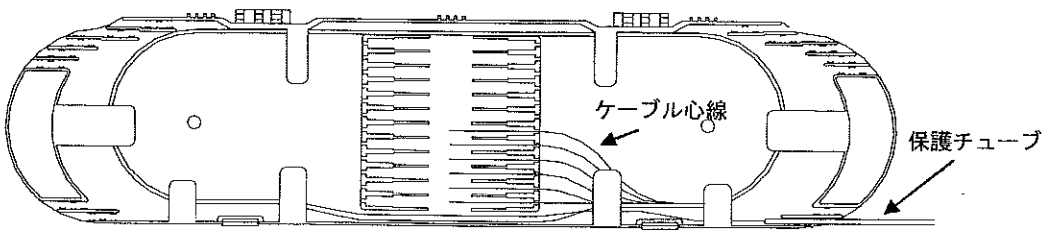




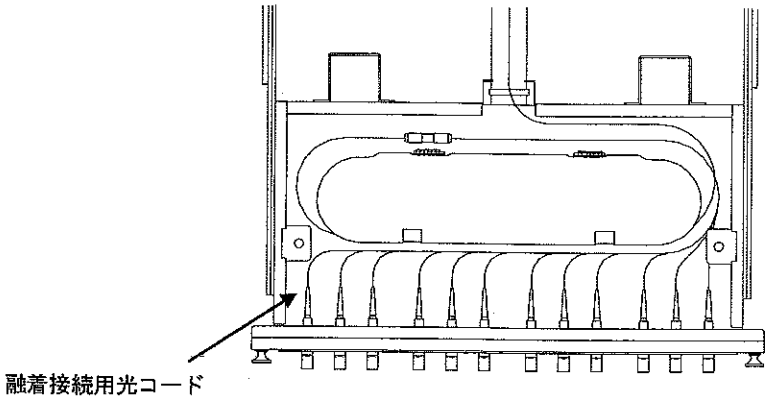
※ 光ケーブル根元の心線の曲げに注意してください。

通線した心線は融着・余長収納トレイに引き込み、下図のようにトレイ内部に仮収納します。

トレイ１枚に対し保護チューブ1本を収容するようにしてください。したがって、１トレイあたり、φ0.9心線を6本、4心テープ心線を2枚分収容できることになります（前述4.項の保護チューブと心線の数の対応表参照）。

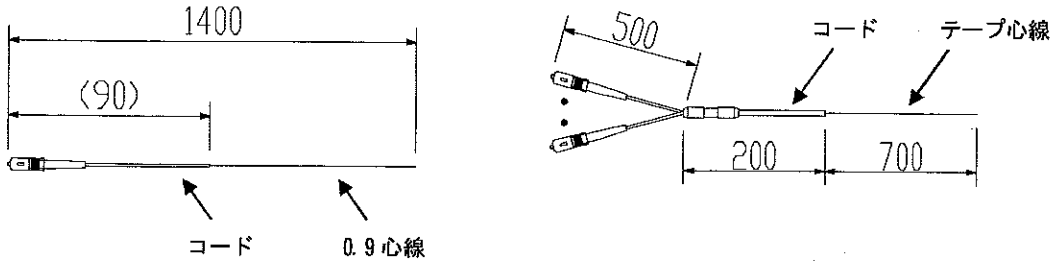


8. 融着接続用光コードの配線とアダプタへの接続
融着接続用光コードは下図を参考にして内部に余長を持たせてトレイまで配線してください。

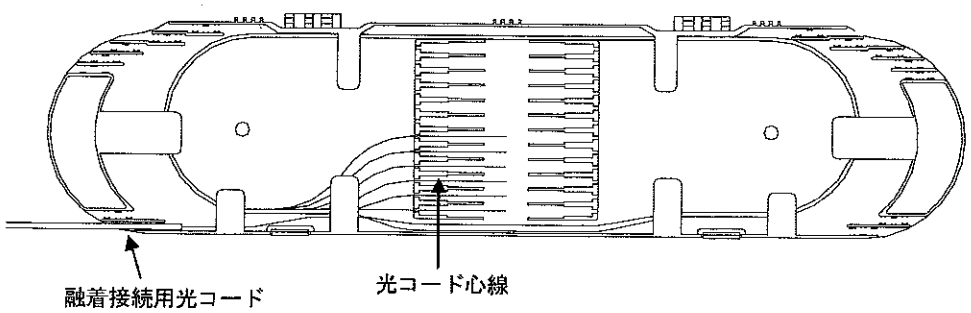


本体に搭載されているSCアダプタは2連アダプタになっており、それぞれのアダプタの横に番号が記述されております（前面部）。各心線の対称（光ケーブルの両端での対称）を確かめながら、番号にあわせて接続してください。

※ 融着接続する光コードの全長は約1400 mmで、トレイ内に約700 mmの心線を収納します。



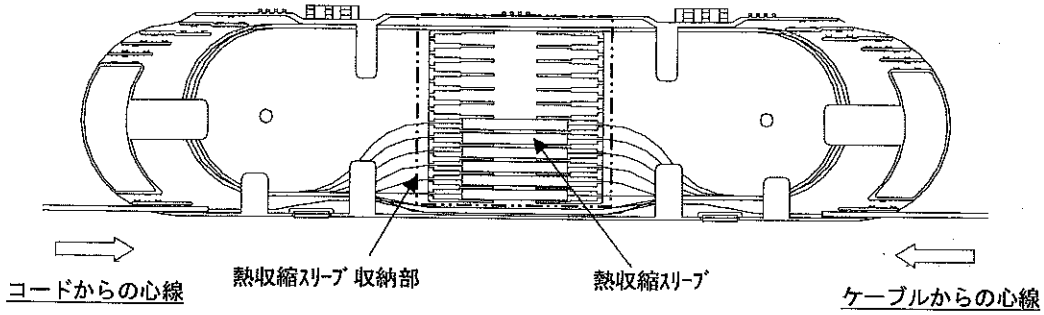
光コードの心線を融着・余長収納トレイに引き込み、下図のようにトレイ内部に仮収納します。



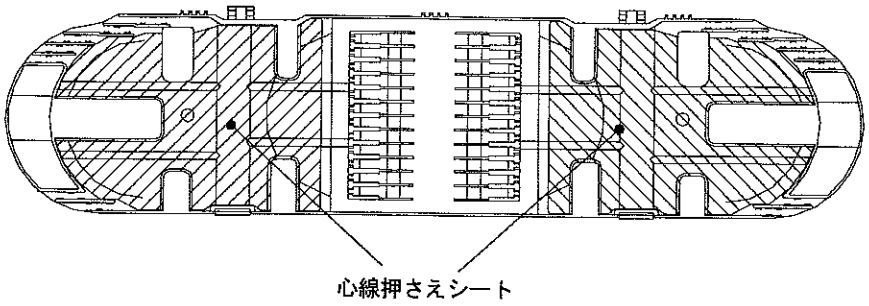
9. 心線の融着接続と作業トレイへの収納

光ファイバケーブルの心線と、融着接続用の光コードを光ファイバ融着接続機で接続してください。光ファイバの融着処理については、融着接続機の取扱説明書等を参考にして施工してください。

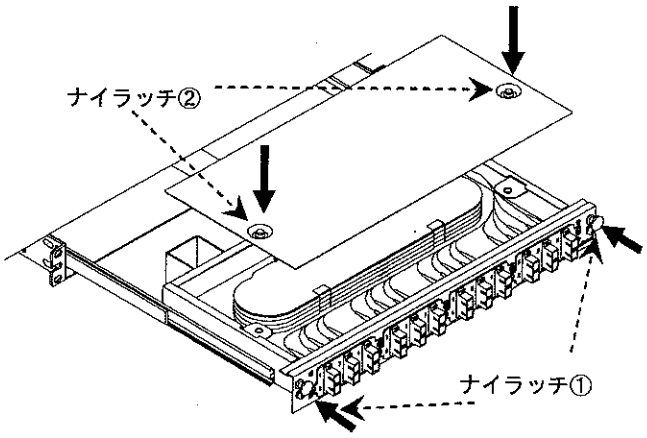
余長は、下図を参照して融着・余長収納トレイに収納してください。



余長収納終了後、心線が飛び出さないように各トレイに心線押さえシートを挿入してください。

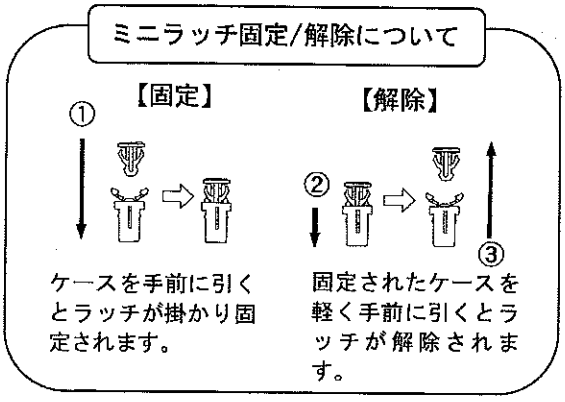


10. フタの取り付け、本体の収容



フタは心線を挟まない事を確認して、ナイラッチ②を押し込み固定します。

本体部は一度手前に軽く引いてミニラッチを解除した後、奥にスライドさせながら元に戻し、ナイラッチ①を押し込み固定します。



注意）

ナイラッチ、ミニラッチを無理に操作すると破損の原因になりますので御注意下さい。

[〒571-8686] 大阪府門真市門真1048 パナソニック電工株式会社 TEL (06) 6908-1131<大代表>

0303-6059